

# 令和5年度議会報告会(意見交換会)における発言内容報告書

開催地区: 鳳来北西部地区 開催日時: 令和5年9月28日(木) 午後7時00分 ~ 午後8時45分 開催場所: 海老構造改善センター 担当議員: 6名 (氏名: 丸山隆弘、滝川健司、鈴木達雄、村田康助、山田辰也、柴田賢治郎) 参加人数: 男性19名、女性2名 計21名	報告者  柴田賢治郎
---	------------------

分類: ●議会に関するもの ○市政に関するもの 対応: ①回答(処理)済 ②聞き置いた事項(含む情報提供)

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対応			キーワード
			分類	番号	担当	
1	行政視察について。その意義と場所の選定方法、またその必要性についてどの様にお考えか伺いたい。	場所の選定については、新城市が抱えている課題について、先進地とされる場所を選び、行政の方向性に伴う、メリットデメリットを確認する機会になるように選ばれます。その必要性は議員の資質の向上、見聞を広める機会を提供する為にも重要と捉えている。	○	①	滝川健司	行政視察
2	6月2日に起きた線状降水帯は当地に多くの被害を起しました。組長として床下浸水などの被害を確認し写真なども撮りましたが、水が引いた今もその傷跡は痛々しいものであります。海老川沿いにも多くの被害がありましたが、今回組長としては市の対応の速さに一定の評価はしたいと思っておりますがその被害の数、対応の内容をおしえて下さい。	今回の被害は、県の管轄するものも多く、河川の災害等、長期にわたる復旧を強いられている。担当地域を含めて、全体の数が上がったが、その後に確認できたものもあり、その総数はまだ確定していない。市議会は、9月26日に県土木から現状と今後の復旧について意見交換を行った。国の認定を必要とするものもあり、強く復旧を望む声をあげていく。	○	①	丸山隆弘	災害対策
3	行政視察報告にある東京、武蔵野市の学校給食共同調理場について。本市において一括して食材を購入を予定されているが、安全安心がどのように確保できているか。	武蔵野市は給食開始当初から、安全食材、地元食材を使い安全な給食を提供するという方針で進めてきました。継続的に安全な給食の提供を担保するため、現在は財団法人を設立して委託し、地元食材使用、有機食材を使う、加工品は使わない、遺伝子組み換え食材を使わない等を基本に給食を提供しています。本市においてもJAと連携して無農薬の野菜を使う様に要望しています。	○	①	鈴木達雄	行政視察 学校給食
4	給食センターの建設はすでに始まっている。建設地を確認すると敷地に余裕がなく、今後の運営に危機感を感じる。また、生徒が減っていくのに建設費はどんどん膨らんでいる。なぜ、親子式ではダメなのか確認したい。	単独、親子、共同それぞれの調理場方式について手順を踏み検討した結果、共同調理場方式を選択したもの。作手は小中学校で親子方式である。ただ、合併特例債の活用期限が迫り共同調理場用地の選定を急ぎすぎたため、段差のある市有地を選び、課題を残した経緯がある。	○	①	鈴木達雄	学校給食
		各学校の給食施設が老朽化し、建て替えの必要があった。その時にほとんどの学校がウエット方式であった物を、ドライ方式にする必要があり、1カ所にまとめて現行の法に適用する必要があったため。	○	①	滝川健司	
		作手では単独で作るのは市から離れていることが起因している。従業員の確保のし易さや、全校で120人から130人いる食物アレルギーの児童に対応する専用のラインを各校個別に作るのは無理があり、1カ所にまとめた経緯がある。	○	①	村田康助	

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対応			キーワード
			分類	番号	担当	
5	武蔵野に視察に行かれたとのことだが、米を作っている立場から、学校無農薬米を用意出来るのは違和感がある。人口の多い武蔵野市で給食を無農薬米にすることが可能なのか疑問に思う。遺伝子組み換え食品などに対して、食の安全をどのように確保されているのか。	お米についてはまだまだ無農薬にはなっていないとの事でありました。有機栽培にとどまっている。米、野菜など30から35品目の食材を仕入れているが、米を含む10品目は有機栽培、それ以外を地産地消で調達している。現実には地産地消食材すべてが無農薬ではないようである。また財団職員が栽培地の現地確認、残留農薬、遺伝子組み換えの検査をその都度している。	○	①	鈴木達雄	行政視察 学校給食
		武蔵野市では職員が直接農家に出向いて確認、財団が直接お米の調査をした。牛肉の遺伝子組み換えやホルモン剤などについてはその受け入れを見受けられない為、特段の検査はなかった。	○	①	山田辰也	
6	市民病院の件は急に感じる。市民への情報提供が不十分ではないかと感じる。高齢者に配慮した病院へのアクセスや、駐車場の設置について慎重に整備して欲しい。	情報に関しては広報ほのか9月号に掲載されている。令和4年には市民病院のあり方検討会が発足された。現在の市民病院の使いづらさ、築40年経ったことによる設備、機械の老朽化がここきて加速している。移転新築か、現敷地で改築の議論も加速する中で市民説明を強化するように市に働きかける。	○	①	鈴木達雄	市民病院
7	新城市民病院は、あと持って10年20年で、開業医も高齢化しており、最後に頼りになるのは市民病院、地域医療を守る責任がある。クラウドファンディングや寄付を募っても前進的な考えで守ってほしい。	基本的に病院、研究、考察、コンサルタントを入れて進めている。移転の方がコストを抑えられるなどの意見が出ており、それに伴い、バイパス沿、新城高校跡地などの意見が出ている。	○	①	村田康助	市民病院
		議会の役割を痛感し、皆さんの思いが馳せるように今後も頑張る所存。	○	①	丸山隆弘	
8	市バスが10月からオンデマンド方式になりありがたい。豊鉄バスの最終便が1時間程早まってしまいJR飯田線からの乗り継ぎができず生活に支障が出る。	定期的なダイヤ改正時にそれらの問題も組み込めるように努力する。	○	②	丸山隆弘	公共交通
9	義務教育期間については給食費を親負担の無い、無償化にしてほしい。財源もそれほどかからないと思う。	給食費の無償化については議会からも市へ要望していく。議論の途中であるが、市長も前向きなのでその方向で動くと思う。議会としても後押ししていく。	○	①	鈴木達雄	学校給食
10	市民病院について、建物の話ばかり先行して議論するより、過疎地でありどのような機能の病院にするかが重要だと思う。医師の確保、機能の継続、充実、その辺の議論を進めないといけないのではないかと。	これからも奥三河の基幹病院として医療の確保の役割は変わらず継続する。機能の面では、機材も新しくなるのでよくなると思う。診療科は現在と同等となる予定で、医師確保が課題だが、新しい施設になれば医師確保にも有効だと聞いている。	○	①	鈴木達雄	市民病院
11	議会に対する意識調査のアンケートがあったが、議会に対して辛辣な意見が多く、信頼度は50%あるかないかでは。二元代表制が大前提であり、執行に対してしっかりチェック機能を働かせてほしい。市の借金がどんどん先送りされているので、目を届かせてほしい。意見である。	聞き置いた事項(含む情報提供)	●	②	丸山隆弘	市民意識調査

No.	市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	対 応			キーワード
			分類	番号	担当	
12	国道257号の愛郷方面は道が狭く倒木も多い。生活道路としてあまりにひどすぎる。600万円程の自治区予算があるが、地域では何もできない。車での移動が必要不可欠な地域なので、日常の行動が阻害されないように整備を進めて欲しい。	国道なので市ではないが、道路改良、道路支障木の整備などについては、議会としても要望していく。	○	①	滝川健司	公共用道路